

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和8年3月定例会	
議案番号 議案名	<p>議案第69号 令和8年度松戸市一般会計予算 議案第70号 令和8年度松戸市国民健康保険特別会計予算 議案第71号 令和8年度松戸市松戸競輪特別会計予算 議案第74号 令和8年度松戸市介護保険特別会計予算 議案第75号 令和8年度松戸市後期高齢者医療特別会計予算 議案第76号 令和8年度松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計予算 議案第77号 令和8年度松戸市相模台地区土地区画整理事業特別会計予算 議案第78号 令和8年度松戸市水道事業会計予算</p>
議員名・会派名等	西田善昭・松戸志政会
賛否態度	賛成
賛否など態度決定に至った理由や討論	<p>過日開催されました予算審査特別委員会において審査された議案第69号、令和8年度松戸市一般会計予算から議案第80号、令和8年度松戸市下水道事業会計予算まで、会派・松戸志政会を代表し、ただいまの委員長報告のとおり、賛成の立場で討論させていただきます。</p> <p>先の代表質問でも述べさせていただきましたが、今年2月8日投票の衆議院議員選挙において、自由民主党が戦後最多の議席数を獲得するに至った背景には、長いデフレからの脱却と強い経済の構築に対する国民の期待が高まった結果と重く受け止めています。とはいえ、令和8年度は、長期化する人材不足や建築資材の高騰に加</p>

え、国際紛争による石油資源のさらなる高騰が経済成長に影を落とすことが懸念され、市政運営においても引き続き難しいかじ取りを求められることが想定されます。

さて、歳入では根幹をなす市税は、緩やかな景気回復に伴う企業業績の向上と、個人所得の増加が見込まれ、予算額は792億3600万円と過去最大を更新しております。一方で、小・中学校などの体育館空調設置工事が令和7年度をもって事業完了したことなどにより市債が減少し、一般会計当初予算総額としては令和7年度に次ぐ過去2番目となる予算規模となりました。

歳出におきましては、物価高騰対策として、小中学校および幼稚園・保育園等の給食費等の支援、第3子以降の保育料無償化の実施、農業用資材費の支援、市営水道料金の減免の実施、懸案事項であった新焼却施設の整備や江戸川・ふれあい松戸川の水辺空間の活用に伴う事業などを進める一方、増大し続ける社会保障費の影響を受けて民生費が予算総額の52.1%を占め、依然として財政運営の自由度は決して高い状況でないものと推察されます。

そうした中、我が会派・松戸志政会としましては、令和8年度予算に対し、松戸市長が就任後初めて編成を主導した予算案であり、松戸市長の価値観や取り組みたい方向性を伺う予算として向き合いました。

本予算は「暮らし応援未来投資予算」と銘打たれておりますが、審査を通じて感じたのは、単に新規事業を展開するだけでなく、「未来への投資枠を生み出すために、時代に合わない事業を果敢に縮小・削減する努力」が随所に反映されているという点です。松戸志政会が昨年度の決算審査等で指摘してまいりました事業につきましても、多くの見直しが図られていることを確認いたしました。

既存の事業を削る、縮小するという決断は、行政において多大なエネルギーを要するものです。本市初のインセンティブ予算制度導入では、予算を削るという考え方から予算を生み出す考え方への転換により、49件の取り組みで約8,100万円を確保したほか、サンセット方式の導入では、新規事業を中心に57件を対象として、事業の実施期間等を設定することで、来年度以降の財政効果が期待されます。その他、ソフト事業ヒアリングの実施など、市が一丸となっ

て取り組んだ姿勢に対して、市長をはじめ、理事者ならびに職員の皆様の並々ならぬご苦勞と努力の跡がうかがえる予算編成と、高く評価いたします。

しかしながら、無駄を省く努力を評価する一方で、数十年先の松戸市を見据えた「まちづくり」のビジョンが、その場しのぎのツギハギとなっては本末転倒です。その一つが、老朽化が進行する社会教育施設の再編であり、一つが、これまで駅周辺のまちづくりに協力いただいていた国や地域との信頼関係であります。こうした課題をどう進めるのか、また、いかに再構築していくのか。今、本市に強く求められているのは、何よりも「松戸市全体の価値をどう向上させるか」という全体最適の視点に基づく、確かな都市戦略であると申し上げます。

以下、討論時間の制約上、取り上げたテーマの一部となりますが、賛成の理由と指摘事項を述べてまいります。

総務費につきましては、7月からの窓口開庁時間短縮に伴う広報支援業務について、来庁者数の減少を図り、来庁者にかかる事務手

続きに要する時間を短縮するなどの業務効率化は、市職員の離職率防止や政策立案機能の強化、仕事に対するモチベーション向上への効果が期待できることから必要な取り組みであることは承知しておりますが、移行期間において市民の混乱をきたさないよう十分な周知徹底をお願いいたします。また、一連の制度変更には、各種証明書のコンビニ交付推進が不可欠なことから、併せて積極的な周知をお願いいたします。

デジタル住民ポータルサービス「デジまつ」や、生成AI総合案内システムなど、更なるデジタル化を推進する予算が計上されました。業務の効率化や人件費の抑制、市民サービスの向上など「未来への投資」の一つとして欠かすことのできない取り組みではありますが、急速な時代の流れにとり残される人が出ないように、と要望させていただきます。

防犯カメラ等安全対策につきましては、契約方法の変更や設置機種の形式変更により、予算を削減した上に設置台数を増やす工夫が見られました。引き続き市民の安心安全な生活を推進していただくようお願いいたします。

市内の公共空間や街なかを舞台とする「音楽活動によるまちづくり」への支援を目的とする音楽文化創出事業補助金についてです。

既存の「松戸クリスマス音楽祭」の実績を生かし、市内全域を対象に展開するとのことですが、かつての賑わいが失われかけている駅前や地域において、賑わいを取り戻すきっかけとなるよう期待しています。

次に、民生費であります。

増大する民生費をいかにして抑制するかが課題となる中、老人福祉施設への整備促進や、働き手不足により介護施設がフル稼働できない深刻な状況において、介護人材確保に向けた「介護人材採用活動経費補助金」が予算計上されました。一方、「在宅医療連携促進支援事業拠点業務委託」など、在宅医療の提供体制構築に向けた取り組みについて伺いました。

また、保育の質の向上を目的とした「ミドルリーダー」では、これまで保育園施設長を対象に行ってきた研修を、現場で中心的な役割を担う主任クラスなどに拡大する、とのことでした。

こうした社会構造や家族構成の変化により、子どもや高齢者を取り巻く環境が急速に変化している中で、必要な支援も多様化している実態があります。引き続き、支援を求める市民の声に耳を傾け、寄り添いながらの市民サービス向上をお願いいたします。

次に、衛生費であります。

いくつかの予防接種で自己負担額を増やすなど歳出削減が行われた一方、高齢者インフルエンザワクチン予防接種において、75歳以上を対象に使用ワクチンとして位置付けられた高用量ワクチンについて、発症予防効果と入院予防効果を確認いたしました。

ごみ集積所への不法投棄を監視する不法投棄防止カメラや看板などの防犯設備の貸し出しでは、集積所を管理する町会等の負担軽減とともに、不法投棄の抑止効果に期待いたします。

次に労働費ですが、15歳から49歳の無業者を対象にしている「まつど地域若者サポートステーション」に対し、年齢や労働実態を緩和して展開している「まつどキャリアサポートデスク」を拡充する予算が計上されました。労働力不足に悩む企業にとっても喫緊の課題でありますので、市内在住・在勤者のみならず、今回対象に加えられた「松戸市で就職を目指す人」など、働く意欲のある人が生き生きと仕事ができるよう、就労支援に期待いたします。

次に、農林水産業費につきましては、産地育成強化支援業務とし

て「まつどの梨」PR動画作成の予算が計上されました。販売促進や観光誘客のほか学校教材としても活用するとのことでした。完成動画だけではなく、PR用素材として、再編集が可能な素材一式として受け取れるよう進めるとのことですので、ショート動画などSNSなどを有効活用して、是非「バズる」工夫をお願いいたします。

次に、商工費であります。

観光協会の事務局長に初めて外部人材が就任しましたが、他自治体の観光協会での経歴など、これまでのさまざまな経験を生かして、本市の観光政策をけん引していただくとともに、新設される観光推進課と観光協会が連携を密にした今後の観光戦略に期待いたします。

次に、土木費であります。これまで、新拠点ゾーン整備に一般会計と特別会計合わせて約43億3175万円を投入してきたことを確認いたしました。当初、新拠点ゾーンには新庁舎とともに松戸駅周辺の社会教育施設の再編も組み込まれておりましたが、さきの新庁舎整備に関する特別委員会で示された、「新庁舎は移転せずに現地で建て替える」方針によって、新拠点ゾーンから新庁舎が切り離さ

れた状態にあります。すでに多額の税金を投入して用地を取得している以上、計画が停滞し、土地が活用されない期間が長引くことは、市民にとって莫大な機会損失となります。ご答弁で、新拠点ゾーン整備基本計画の相応の見直しに当たっては、これまでの投資の効果がなるべく早く発現するよう努める旨をいただきましたので、新拠点ゾーン計画のための用地取得に関してなど、協力していただいた地権者の皆様や国との信頼関係の維持にも留意して、本事業を「未来への投資に資する事業」として、しっかりと前に進めていただくことを強く要望いたします。

次に、消防費につきましては、救急現場において傷病者のマイナ保険証を活用し、通院歴や服用薬を迅速に把握することで搬送先医療機関の選定など救急業務の円滑化を図る「マイナ救急サブスクサービス」が本格導入となります。引き続き市民の命と財産を守るための活動に期待しております。

次に、教育費であります。

市内小中学校に設置されているプールの老朽化に伴い、民間事業者へ水泳指導補助業務を委託する小学校が令和7年度の3校から、

令和8年度は7校に増える予算が計上されました。今後も増えていくことは必至でありますので、これからの水泳指導のあり方について、検討会において結論を出す時期にきているのではないかと要望いたします。

次に、これらの事業を実施するための財源となる歳入についてであります。

令和6年度決算審査特別委員会において、松戸志政会として指摘してまいりました、使用料や手数料などの見直しについて、約30年ぶりに「受益者負担の適正化方針」を新たに策定する方針が示されましたが、今回、具体的に令和9年度当初予算の編成に反映できる時期に示すとのご答弁をいただきました。厳しい財政状況だからこそ、市職員皆さんの英知を結集していただき、創意工夫のもと、全松戸市民のため、この厳しい財政状況という難局を乗り越え、未来への投資に向け全力を尽くしていただき、引き続き適正な財政運営に努めていただきますようお願いいたします。

以上、一般会計につきまして、指摘等を含め、賛同する趣旨を述

べてまいりました。

討論時間の関係から詳細は割愛いたしますが、特別会計、企業会計についても同じく賛同いたします。それぞれの会計における特定の歳入により事業運営をするという特別会計、企業会計の設置目的に従い、引き続きご努力をお願いするとともに、今後も、一般会計からの繰入金及び負担金等になるべく依存しない体質強化に努めていただきますようお願いいたします。

以上、本定例会に提案され、予算審査特別委員会に付託を受けた議案第 69 号、令和 8 年度松戸市一般会計予算から議案第 80 号、令和 8 年度松戸市下水道事業会計予算までの 12 議案全てに賛成いたします。

最後になりますが、予算審査に当たり、理事者の皆様の丁寧な御答弁、御対応に改めて感謝を申し上げますとともに、市民生活を守り、本市発展のため、誠実で確実な本市職員の日ごろの事業執行に敬意を表し、会派・松戸志政会を代表しての討論を終わらせていただきます。